



一般社団法人福岡県損害保険代理業協会 福岡東支部

[第6号]

発行

2011年8月

〒812-0007  
福岡市博多区東比恵2-7-18  
株式会社KRC 松田 宏臣

# 代協 福岡東 だより

支部長のKRC 松田です。

今年度最初の支部例会は7月13日に日本興亜損保 福岡中央支店の会議室で行いました。

震災後の事故処理や保険金支払い状況などについて話を聞いた後、参加者からは各保険会社の対応などと共に、この支部例会に期待することなど多様な意見も聞かれました。このことはしっかりと検討して、今後もより有意義な支部例会にしていきたいと思います。



## 日本興亜損害保険株式会社 福岡中央支店 山内氏より『震災後の状況』について。



今年の4月に茨城県水戸市から赴任された山内さんは、3月11日の大震災をご自身で経験され、震災直後の茨城の状態について体験談を話してくださいました。

その後は、地震保険の支払い状況について解説。

6月29日の時点で受付件数は業界全体で70万件を超え、そのうち既に支払いが完了したものが57万件、金額にして1兆300億円の支払いが完了しており、この金額は1995年の阪神・淡路大震災のすでに13倍の額にのぼっているとのこと。(下図参照)

受付件数については、現在でも1日に100件ほどの報告が入っており、震災から4ヶ月以上が経過した現在においても受付件数は増え続けているのだそうです。

これは、避難先から戻ってこられた方がようやく家のことや車のことを処理することができるようになったからだと言われています。いまだ避難所生活を続ける方がいるこの状況では、まだまだ先の見通しは立たないと考えておくべきかもしれません。

山内さんご自身も、福岡に赴任するまでは被災地で事故報告物件の調査を行っていたそうです。膨大な件数のため、1件の調査に何日も時間をかけることが許されず、現場でその日のうちに査定を完了させることができることも、という状況のもとで、やはり【全損/半損/一部損】の見極めには心を痛めることも多かったのだそうです。

震災に関連する保険商品については【継続】は問題ないものの、【増額】や【新規】の契約にはまだ制約がかかっており、今後の状況をみながら解除していくだろうとの見通しでした。

地震を含め、自然災害による被害を防ぐことは人間の力の及ばないことも多い、けれども車の事故は防ぐことができるもの。保険会社各社も事故削減への取組みを進めており、日本興亜損保での取組みについては・・・。

## 引き続き、大林氏より『事故削減への日本興亜の取組み』について。

車の損害率が2003年には60.2%だったのに対して2009年には71%と上昇しています。

それによって、保険料の単価は下がっているものの支払い保険金が上昇するという逆転現象が発生。また事故の7割は「ヒューマンエラー(人による事故)」だと言われ、これを減らすことができれば事故・損害率は減らせるはずとして、

日本興亜損保でも今年は積極的に取組んでいるのだそうです。そのひとつが『FLP(自動車事故削減プログラム)』と自動車管理サポートサービス。

事故削減への意識の高い企業を中心に、このプログラムの提案を行っているそうです。

企業も個人も事故削減への関心は高まっており、私たち代理店としても、社会やご契約者さまのためにも啓蒙活動に力を入れて事故削減につなげいかなければなりません。



## 7月8日『代理店賠責セミナー』開催! ~コンプライアンスと代理店の賠償責任~

講師は、アリアンツ火災海上保険(株)の損害部部長 黒田氏。アリアンツは日本代協が団体加入している【保険募集人賠償責任保険】の引き受け会社です。

平成23年1月の時点で加入店数は9,000店を超え、アリアンツには一日に数件の問合せ・相談の電話が入ること。

コンプライアンスの考え方と、実際の相談事例についてお話を聞きしました。



『保険募集に関する禁止行為』として第一に、「虚偽のことを告げる行為・重要な事項を告げない行為」が取り上げられますが、実際に非常にクレームの多いものだそうです。悪意で行うのではなく、ついうっかり間違えてしまった・・・、うろ覚えで答えてしまった・・・という場合でもお客様にとっては「虚偽のことを告げられた」と受け取られる場合があります。また、例えば契約期間中に保険内容が変更になり結果としてお客様に伝えきれていなかったことが「重要な事項を告げない行為」と受け取られてしまうこともあります。

実例としては、特約が多い「他車運転」や「年齢条件」に関するトラブル、車検切れ車両の名義変更に関するトラブル、ファミリー契約の一部廃車に関するトラブル、身の回り担保の改訂説明に関するトラブル、また工場などの構内限定条件での事故が増加しトラブルとなっていることもあるそうです。

法律に関することは難しい言葉や解釈の仕方など、なかなか自分の身にあてはめて考えることが難しい問題ですが、次々に紹介される実例を聞くと、とても身近な問題であることを実感します。

日本代協が団体加盟している【保険募集人賠償責任保険】はこうした場合に私たちの大きな助けとなってくれるものであります。次の更改は10月1日。加入している方は更新を忘れずに、そして新会員の方はご検討ください。

## 事業広報委員会&CSR委員会より



総会で承認されましたアイエスの新事業である、【ヒートポンプ式自販機】への切替促進について福岡南支部の川添さんと、提携先であるアサヒカルピスビバレッジさんから詳細説明をお聞きしました。

この事業は「地球環境保護」という保険代理店の社会貢献活動の一環として、電力削減とCO<sub>2</sub>

削減にメリットのある自動販売機をお客様にご案内するものです。この自動販売機にご契約いただいた際には、アイエスと紹介代理店に収益のあがる事業ではありますが、目的は代理店の地位向上。契約更改時に、代協のこのような取組みについてお話しすることによって、ご契約者様からより信頼される代理店・業界として発展していくことを願うものです。福岡南支部では積極的に推進している活動です。東支部での取組みについては今後も継続して検討していきます。

東支部  
委員会報告

各委員会からのお知らせです。

満員  
御礼

### ◆教育委員会より

保険大学14期生の募集が7月末で締め切りました。九州北ブロックでは100名の枠のところ、早々に定員に達しました。ありがとうございます! この14期を最後に、来年以降は先日発表された新しい資格制度に移行します。

### ◆組織財務委員会より

福岡県が会員増強で7年連続を達成しました。8年連続に向けての取組みとして、今期は県で21店の会員増を目指します。各支部においては3店の増員を目標として活動を行います。

また、「国民年金基金」への加入促進にご協力ください。

情報交換の時間には、保険会社の対応や支部例会の内容について様々な質問や意見が出されました。

- 保険会社と代理店の情報交換会は各社どのように行われているか?
- 支部例会では自分の代申会社以外の保険商品について知りたい。
- 同業者の経験を参考にしたいので、具体的な事例を詳しく聞いて勉強したい。

今後の支部例会がより活発で有意義な会員交流の場となるよう、例会のテーマとして検討していきます。  
ありがとうございました。

次回  
ご案内

9月14日(水曜)に、富士火災海上保険(株)で開催します。

交通事故紛争解決の経験豊富な弁護士をゲストに招き「座談会」も開催する予定です。ご期待ください!  
詳しくは別紙の案内チラシをご覧ください。

## 7月8日『代理店賠責セミナー』開催！～コンプライアンスと代理店の賠償責任～



講師は、アリアンツ火災海上保険(株)の損害部部長 黒田氏。アリアンツは日本大手協が団体加入している【保険募集人賠償責任保険】の引き受け会社です。  
平成23年1月の時点での加盟店数は9,000店を超え、アリアンツには一日に数件の問合せ・相談の電話が入ること。  
コンプライアンスの考え方と、実際の相談事例についてお話を聞きました。

『保険募集に関する禁止行為』として第一に、「虚偽のことを告げる行為・重要な事項を告げない行為」が取り上げられますが、実際に非常に非常にクレームの多いものだそうです。  
悪意で行うのではなく、ついつかり間違えてしまつた・・・という場合でもお客様にとっては「虚偽のことを告げられた」と受け取られる場合があります。また、例えば契約期間中に保険内容が変更になり結果としてお客様に伝えきれていたことが「重要な事項を告げない行為」と受け取られます。

実例としては、特約が多い「他車運転」や「年齢条件」に関するトラブル、車の回り担保の改訂説明に関するトラブル、また工場などの構内限定期間での事故が増加しトラブルとなることもあります。  
法律に関することは難しい言葉や解釈の仕方など、なかなか自分の身にあてはめて考えることが難しい問題ですが、次々に紹介される実例を聞くと、とても身近な問題であることを実感します。

日本代協が団体加盟している【保険募集人賠償責任保険】はこうした場合に私たちの大きな助けとなってくれるものです。次の更改は10月1日。加入している方は更新を忘れずに、そして新会員の方はご検討ください。

### 事業広報委員会&CSR委員会より

総会で承認されましたアイエスの新事業である、【ヒートポンプ式自販機】への切符促進について福岡南支部の川添さんと、提携先であるアサヒカルビスピバレッジさんから詳細説明をお聞きしました。

この事業は「地球環境保護」という保険代理店の社会貢献活動の一環として、電力削減とCO<sub>2</sub>削減にメリットのある自動販売機をお客様にご案内するものです。この自動販売機にご契約いただいた際には、アイエスと紹介代理店に収益のあがる事業ではありませんが、目的は代理店の地位向上。契約更改時に、代理店のこのようないくつかの見通しでした。

福岡南支部では積極的に推進している活動です。東支部での取組みについては今後も継続して検討していく予定です。



発行

2011年8月

〒812-0007  
福岡市博多区東比恵2-7-18  
株式会社 KRC 松田 宏臣



## 【第6号】

発行

一般社団法人福岡県損害保険代理業協会 福岡東支部

だよ  
福岡  
代かか

支部長のKRC松田です。

今年度最初の支部例会は7月13日に日本興亜損保福岡中央支店の会議室で行いました。震災後の事故処理や保険金支払い状況などについて話を聞いた後、参加者からは各保険会社の対応などと共に、この支部例会に期待することなど多様な意見も聞かれました。このことはしっかりと検討して、今後もより有意義な支部例会にしていきたいと思います。

### 日本興亜損害保険株式会社 福岡中央支店 山内氏より『震災後の状況』について。

今年の4月に茨城県水戸市から赴任された山内さんは、3月11日の大震災をご自身で経験され、震災直後の茨城の状態について体験談を話してくださいました。その後は、地震保険の支払い状況について解説。

6月29日の時点で受付件数は業界全体で70万件を超え、そのうち既に支払いが完了したもののが57万件、金額にして1兆300億円の支払いが完了しており、この金額は1995年の阪神・淡路大震災のすでに13倍の額にのぼっていること。（下図参照）

(6月29日時点)				
	受付件数	調査完了件数	支払件数	支払保険金(千円)
宮城県	250,089	234,719	218,009	494,067,346
福島県	74,210	68,696	63,746	133,832,039
東北計	359,766	336,628	310,899	685,783,080
茨城県	98,996	93,166	84,457	130,113,032
千葉県	70,015	65,110	54,504	80,519,884
東京都	79,959	74,102	55,562	59,365,349
合計	708,889	662,283	578,535	1,030,094,664

受付件数については、現在でも1日に100件ほどの報告が入っており、震災から4ヶ月以上が経過した現在においても受付件数は増え続けているのだそうです。

これは、避難先から戻ってこられた方がようやく家のことや車のことを処理することができるようになつたからだとされています。いまだ避難所生活を続ける方がいるこの状況では、まだまだ先の見通しは立たないと考えておくべきかもしれません。

山内さんご自身も、福岡に赴任するまでは被災地で事故報告物件の調査を行っていたそうですが、震災のため、1件の調査に何日も時間をかけることが許されず、現場でその日のうちに査定を完了させることができることがほとんど、という状況のもので、やはり【全損／半損／一部損】の見極めには心を痛めることも多かったのだそうです。

震災に関連する保険商品については【継続】は問題ないものの、【増額】や【新規】の契約にはまだ制約がかかるており、今後の状況をみながら解除されていくだろうとの見通しでした。地震を含め、自然災害による被害を防ぐことは人間の力の及ばないことが多い、けれども車の事故は防ぐことができます。保険会社各社も事故削減への取組みを進めており、日本興亜損保での取組みについては・・・。

### 引き続き、大林氏より『事故削減への日本興亜への取組み』について。

車の損害率が2003年には60.2%だったのにに対して2009年には71%と上昇しています。

それによって、保険料の単価は下がっているものの支払い保険金が上昇するという逆転現象が発生。また事故の7割は「ヒューマンエラー（人による事故）」だとわれ、これを減らすことができれば事故・損害率は減らせるはずとして、日本興亜損保でも今年は積極的に取組んでいます。そのひとつが「FLP（自動車事故削減プログラム）」と自動車管理サポートサービス。

事故削減への意識の高い企業を中心に、このプログラムの提案を行っているそうです。



企業も個人も事故削減への関心は高まっており、私たち代理店としても、社会やご契約者さまのためにも啓蒙活動に力を入れて事故削減につなげていかなければなりません。

今後も個人も事故削減への意欲は高まります。例会のテーマとして検討していきました。

例会の開催にあたりましたが、ありがとうございました。

詳しく述べる紙の案内チラシをご覗ください。

に招き「座談会」も開催する予定です。

9月14日(水曜)に、富士火災海上保険(株)で開催します。



各委員会からのお知らせです。

● 員会 副会

東支部  
委員会報告

◆ 教育委員会より

保険大学14期生の募集が7月末で締め切りました。九州北ブロックでは100名の枠のところ、早々に定員に達しました。ありがとうございます！この14期を最後に、来年以降は先日発表された新しい資格制度に移行します。

◆組織財務委員会より

福岡県が会員増強で7年連続を達成しました。8年連続に向けての取組みとして、今期は県で21店の会員増を目指します。各支部においては3店の増員を目指として活動を行います。また、「国民年金基金」への加入促進にご協力ください。

情報交換の時間には、保険会社の対応や支部例会の内容について様々な質問や意見が出されました。

- 保険会社と代理店の情報交換会は各社どのように行っているか？
- 支部例会では自分の代会社以外の保険商品について知りたい。
- 同業者の経験を参考にしたいので、具体的な事例を詳しく聞いて勉強したい。

今後の支部例会がより活発で有意義な会員交流の場となるよう、例会のテーマとして検討していきます。

例会の開催にあたりましたが、ありがとうございました。

詳しく述べる紙の案内チラシをご覗ください。

に招き「座談会」も開催する予定です。

ご期待ください！

詳しく述べる紙の案内チラシをご覗ください。